

令和6年度



しもよねだ

第7号 令和6年9月30日(月)

「発見できた喜び」と「役立つ喜び」

～全校研究会の授業から～

校長 板津 英文

7月8日と9月18日に算数の全校研究会を行いました。全校研究会というのは、児童のみなさんが、より力が付く授業について、全校の先生方で意見を出し合って考える会です。今回は、2年1組と4年1組の授業を参観しました。

◎「発見できた喜び」を感じることができました

4年1組は「2けたの数でわる計算」の授業です。わり算の答えが同じである式を比べて、わり算の「きまり」を見つけるという内容です。

新しいことを発見するという事は簡単なことではありません。授業の中で、思わず「わからん」というような声も聞こえてきました。でも、3人での交流や、学級全体での交流を通して、「ああ、そういうことか」など、発見できた喜びを感じられた声が聞こえてきました。

考えることが難しいと、発見できたときには、とてもうれしい気持ちになりますね。考えることをあきらめず、考え続けること、大事にしてくださいね。



4年1組算数の授業の様子



2年1組算数の授業の様子

◎「役立つ喜び」を感じることができました

2年1組は「たし算とひき算のひっ算」の授業です。3つの数のたし算で、たし算の「きまり」を使って、計算する順序を変えて、計算しやすい方法を考えるという内容です。

授業が進んでいく中で、一の位が10になるように順序を変えると計算しやすいことなど、ぼんやりと頭の中で考えていたことをはっきりと整理することができました。

学んだことを使うと、簡単に計算できるようになるなど、役に立つことに気付いたとき、分かったときは、何か得をしたような、うれしい気持ちになりますね。このことで、何ができるようになるのかを考えてみるのも楽しいですよ。